

いちかわTMO修了研究

地域連携で繋ごう！  
美しい景観、行徳・丸浜川



2016/7/16

TMO 8期 武田 紀昭

# 目次

- 丸浜川と私
- 現在の地域連携
- 活動成果
- これからの丸浜川
  - 行徳高校との連携強化
  - 欠真間三角
  - 景観コンシェルジュ
- まとめ



丸浜川と私

# 自己紹介

武田 紀昭



## 来歴

- ・北海道生まれ,74歳
- ・30年前南行徳に移住
- ・日本IBMに45年勤務
- ・趣味はカラオケ

## 日々の活動

- ・行徳芝桜の会代表
- ・行徳グリーン・クリンの会代表
- ・行徳野鳥友の会会員
- ・ガーデニング・シティーいちかわサポーター



# 行徳グリーンクリンの会



宮内庁鴨場入り口

# 宮内庁新浜鴨場に接する 欠真間三角



積まれた  
ゴミ袋の山

- ひどいヘドロの異臭
- 葦かり、胴長、ゴミ出し
- 土のう800袋



土のうを  
積んだ部分

# 宮内庁新浜鴨場に接する湿地





# 丸浜川遊歩道整備



整備前



整備後



# 市川市

## 都市計画マスタープラン

一市川市の  
都市計画に関する  
基本的な方針一

ともに築く  
自然とやさしさが  
あふれる  
文化のまち  
いちかわ



2004  
市川市

概要版



## 地域づくりの方針(抜粋)

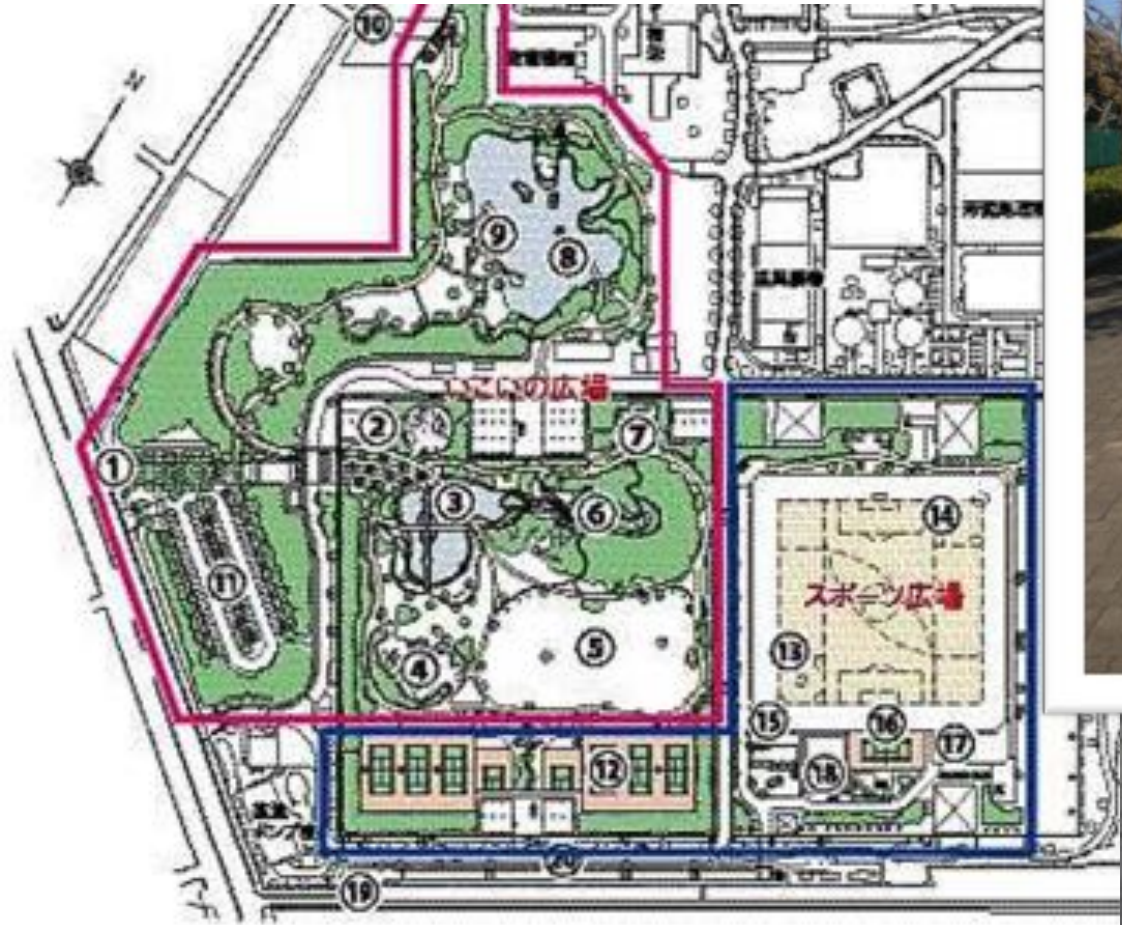
- 丸浜川の水路浄化や散策路の整備
- 水と緑を活かした福栄スポーツ広場、行徳近郊緑地

地域連携

# 江戸川第二終末処理場



# 終末処理場内



行徳  
芝桜の会

福栄スポーツ広場





春



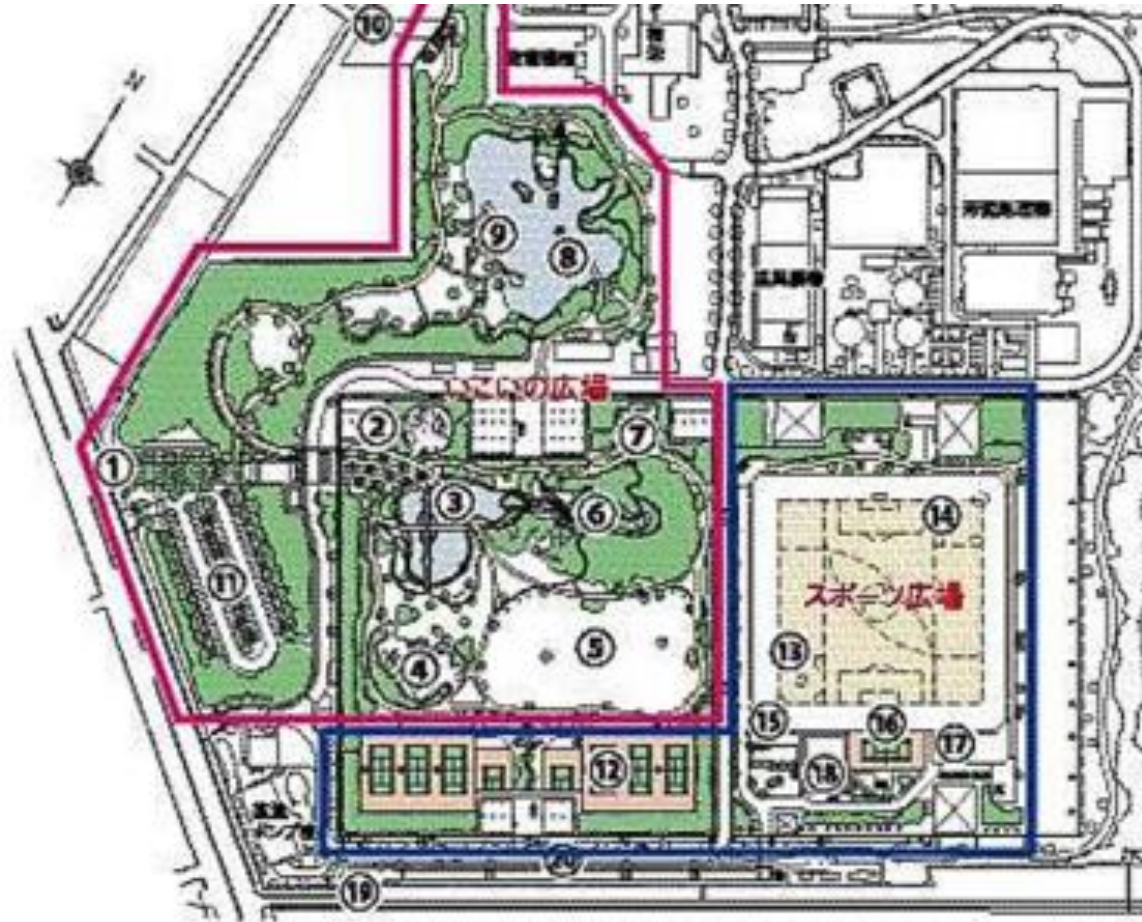
夏

終末処理場  
駐車場入り口



秋

# いこいの広場 バラ花壇



整備前





つるばら



行徳芝桜の会  
の仲間たち



300株の  
ばらたち



ガーデン  
フェスタ

オープンガーデン  
ガイドブック

2015春

まちなか  
ガーデニング  
フェスタ

陽春の庭  
4/18(土) 19(日)

初夏の庭  
5/16(土) 17(日)

○:庭 □:花壇・ミニガーデン△:その他・イベント 出展案内  
★:イベントのある会場(P3~4)

**51** 行徳芝桜の会 花壇(団体) 特別-5  
■種菜4~32 種菜スポーツ広場いいの広場  
知る人ぞ知る、すばらしい自然に囲まれたバラ園

合計約300種のバラが咲きまわります。敷地内には花壇、水辺、林、林道、池、遊具などあり、様々な宮内庁御用と野鳥観察舎の4の丸石に咲いた豪華なバラが咲き誇ります。想いの場を提供してまいります。  
※開花日:5/18(土)午後10時~午後4時  
5/17(金)午前10時~午後4時  
交通:行徳駅下車徒歩15分  
※駐車場あり

市川市 街づくり部 まちなみ景観整備課  
電話: 047-704-0003  
<http://www.city.schikaga.lg.jp/gcn/>



活動成果

# 会の活動認定、承認など

- 県景観づくり活動団体に認定
- 市川市景観活動団体に認定
- 県流域下水道施設ボランティア活動承認
- **県河川海岸アダプトプログラム合意書締結**
- 市川市欠真間三角における環境美化に関する覚え書き
- 市川市ガーデニングアダプト合意書締結
- 市川市新景観百選に3箇所が選定



アダプトプログラム



# 受賞歴

- 都市緑化功労者知事表彰（国交省/千葉県主催）
- 都市景観大賞特別賞（国交省後援）
- 市川市景観賞
- 市川市健康都市市民賞
- 市川市善行賞
- 市川市清掃行政協力者賞
- 市長感謝状 3回（市政への貢献）
- 市川市社会福祉協議会感謝状
- ガーデニングコンテスト部門大賞



新・別荘白景  
ボランティアの力で景観改善、美しい憩いの場に蘇った  
都市景観大賞特別賞受賞の行徳地区



【行徳地区の概要】  
行徳地区は、江戸時代から「花見」の地として知られ、現在は「花見の聖地」として市民の憩いの場として活用されています。この地区は、都市景観大賞特別賞を受賞したことで、全国的に知られるようになりました。

【ボランティア活動】  
この地区では、市民ボランティアが積極的に活動しており、景観の改善や緑化の推進に貢献しています。特に、花見のシーズンには多くのボランティアが参加し、美しい景観を維持しています。

【今後の展望】  
この地区は、今後も市民ボランティアの力で、さらなる景観の改善と憩いの場の創出を目指しています。市民の皆様のご協力をお願いいたします。



散歩道沿いに咲く菜の花と河津桜—先月26日撮影

**福栄 菜の花と河津桜が共演**  
市川市福栄交差点の河津桜4の32の木の咲き始め、菜の花が咲き始める。入口付近の花壇で菜の花を植え、河津桜の咲き始めを待つ。ボランティアで

**家庭ごみ有料**  
市川市廃棄物減量  
市川市では、家庭ごみ有料（550円）の導入が決定した。これは、ごみの削減を促すための施策として、2016年4月1日から実施される。ごみの削減は、環境保護とコスト削減の両方に効果的である。

「菜の花」と「河津桜」の共演は、市民の憩いの場として活用されています。ボランティアの力で、美しい景観を維持しています。

「菜の花」と「河津桜」の共演は、市民の憩いの場として活用されています。ボランティアの力で、美しい景観を維持しています。

「菜の花」と「河津桜」の共演は、市民の憩いの場として活用されています。ボランティアの力で、美しい景観を維持しています。

**福栄にシマアカモズらしき鳥**  
野鳥愛好家が熱視線



シマアカモズとみられる鳥—先月26日撮影

福栄地区の散歩道沿いに、シマアカモズらしき鳥が観察された。野鳥愛好家の熱視線を集めている。この鳥は、福栄地区の自然環境を象徴している。

福栄地区の散歩道沿いに、シマアカモズらしき鳥が観察された。野鳥愛好家の熱視線を集めている。この鳥は、福栄地区の自然環境を象徴している。

「菜の花」と「河津桜」の共演は、市民の憩いの場として活用されています。ボランティアの力で、美しい景観を維持しています。

**市川・浦安のニュースを発信**  
ホームページ [www.ichiyomi.co.jp](http://www.ichiyomi.co.jp)  
e-mail [center@ichiyomi.co.jp](mailto:center@ichiyomi.co.jp)

市川市では、ごみ有料の導入が決定した。これは、ごみの削減を促すための施策として、2016年4月1日から実施される。ごみの削減は、環境保護とコスト削減の両方に効果的である。

**市川手帳**  
日本大震災から5年、その後、市川市では、ごみ有料の導入が決定した。これは、ごみの削減を促すための施策として、2016年4月1日から実施される。ごみの削減は、環境保護とコスト削減の両方に効果的である。

↑ 地銀系機関誌  
マネジメントスクウェア  
2016年3月号

→ 市川よみうり  
2016年3月5日

これからの丸浜川

# 行徳高校との協働





**菜の花と花壇**



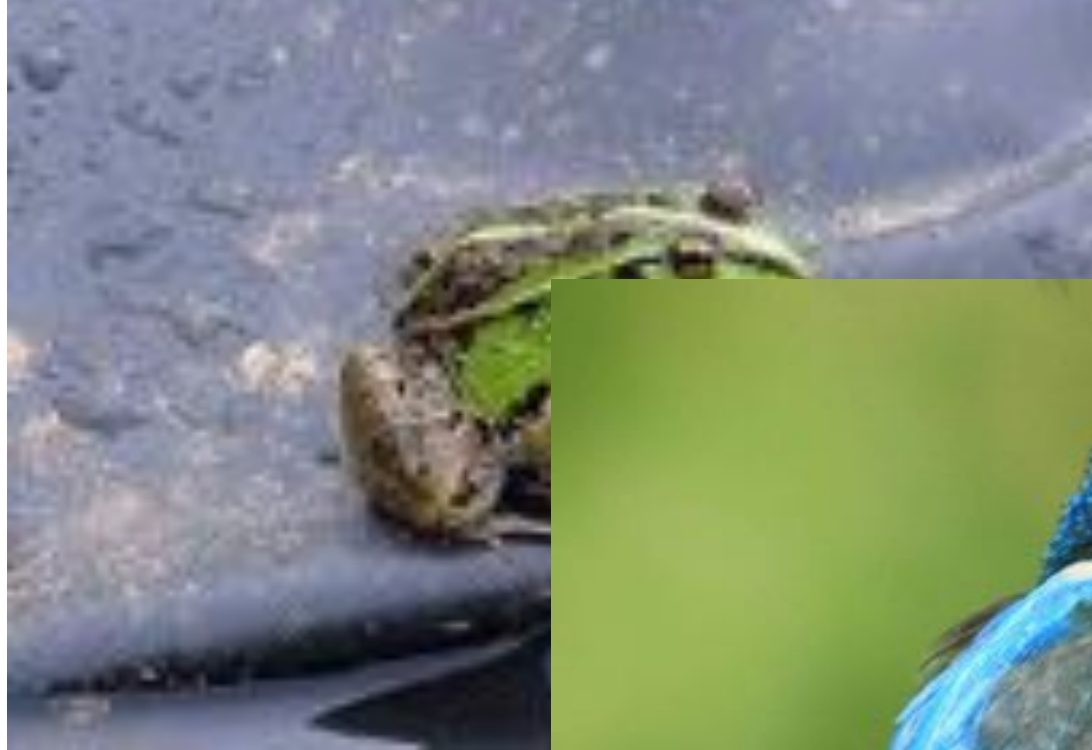
# 丸浜川 ヨシ刈りと保全活動



熊手  
(レーキ)

# 丸浜川『欠真間三角』







# 皇居参観 予約要らず

（皇居）（皇居参観）  
（皇居参観）（皇居参観）



## 皇宮関連施設の一般公開の拡充方針

施設	拡充内容
皇居（東京都千代田区）	かつての徳川幕府の居城で、明治から皇居に、西陛下のお住まい「御所」や天皇陛下の公務やご行事が行われる「宮殿」、宮内庁庁舎などがある。平日に事前申し込み制、案内人付きの見学を実施してきたが、土曜を含め、当日受け付けも可能に。来賓は午前、午後各300人から各500人に
京都御所（京都市上京区）	桓武天皇が遷都して以来、明治初期まで1000年余り、天皇の住まいとされた。現在の建物はおおむね1855年に造営。月～土曜に事前申し込み制、案内人付きの見学を実施してきたが、休日の月曜以外は連年、自由に見学可
仙洞御所（岡）	17世紀前半、後水尾天皇が上皇となった際に造営。御所は1854年に焼失したが、庭園や茶室などが残る。月～土曜に事前申し込み制、案内人付きで1日2回の見学を実施してきたが、当日受け付け枠を設け、1日5回、休日の月曜以外は見学可
桂離宮（京都市西京区）	17世紀初めから中頃までに造営。最高の日本庭園として知られる。月～土曜に事前申し込み制、案内人付きで1日6回の見学を実施してきたが、当日受け付け枠を設け、休日の月曜以外は見学可
徳川院離宮（岡市左京区）	17世紀中頃、後水尾上皇によって造営。三つの離宮からなり、庭園を取り入れた日本を代表する庭園。月～土曜に事前申し込み制、案内人付きで1日5回の見学を実施してきたが、当日受け付け枠を設け、休日の月曜以外は見学可
御料牧場（栃木県高根沢町、芳賀町）	皇室の養馬用の馬の生産、畜養などの飼育、皇室や賓客に供する牛乳、肉、卵、野菜などの生産、外交使節の贈進の場としても使用。原則非公開で、地元住民向け見学会を年2回実施してきたが、一般向け見学会も年2回程度実施。拡充後も検討
宮内庁鴨場（千葉県市川市、埼玉県越谷市の2か所）	それぞれ毎年1万羽を超える渡り鳥が越冬のための飛来。11月中旬から2月中旬の狩猟期間に外の賓客の接待の場として使用。狩猟期間外に地元住民向け見学会を年10回程度実施してきたが、一般向け見学会も年10回程度実施。拡充後も検討

## 当日に受け付け・海外客増に期待

同日によると、平成以降、皇居の見学者が年間約3万5800人で推移する中、10年ほど前から外国人の占める割合が増え、2003年は約26000人（全体の約2.5割）だったが、15年は

「店じが宮だるな日がうた年組」

「店じが宮だるな日がうた年組」

「店じが宮だるな日がうた年組」

同日によると、平成以降、皇居の見学者が年間約3万5800人で推移する中、10年ほど前から外国人の占める割合が増え、2003年は約26000人（全体の約2.5割）だったが、15年は



宮内庁

Imperial Household Agency

ホーム

RSS

キッズページ

ENGLISH

携帯版

文字サイズ

● 宮内庁ナビ ● サイトマップ ● 用語集 ● よくある質問

皇居

皇居のご活動

おことば・記者会見

皇居に伝わる文化

参賀・参観・申込

ホーム > お知らせ(これまでの一覧) > 鴨場見学会(地域住民外)の試行について

## 鴨場見学会(地域住民外)の試行について

### 鴨場見学会(地域住民外)の試行について

平成28年6月28日

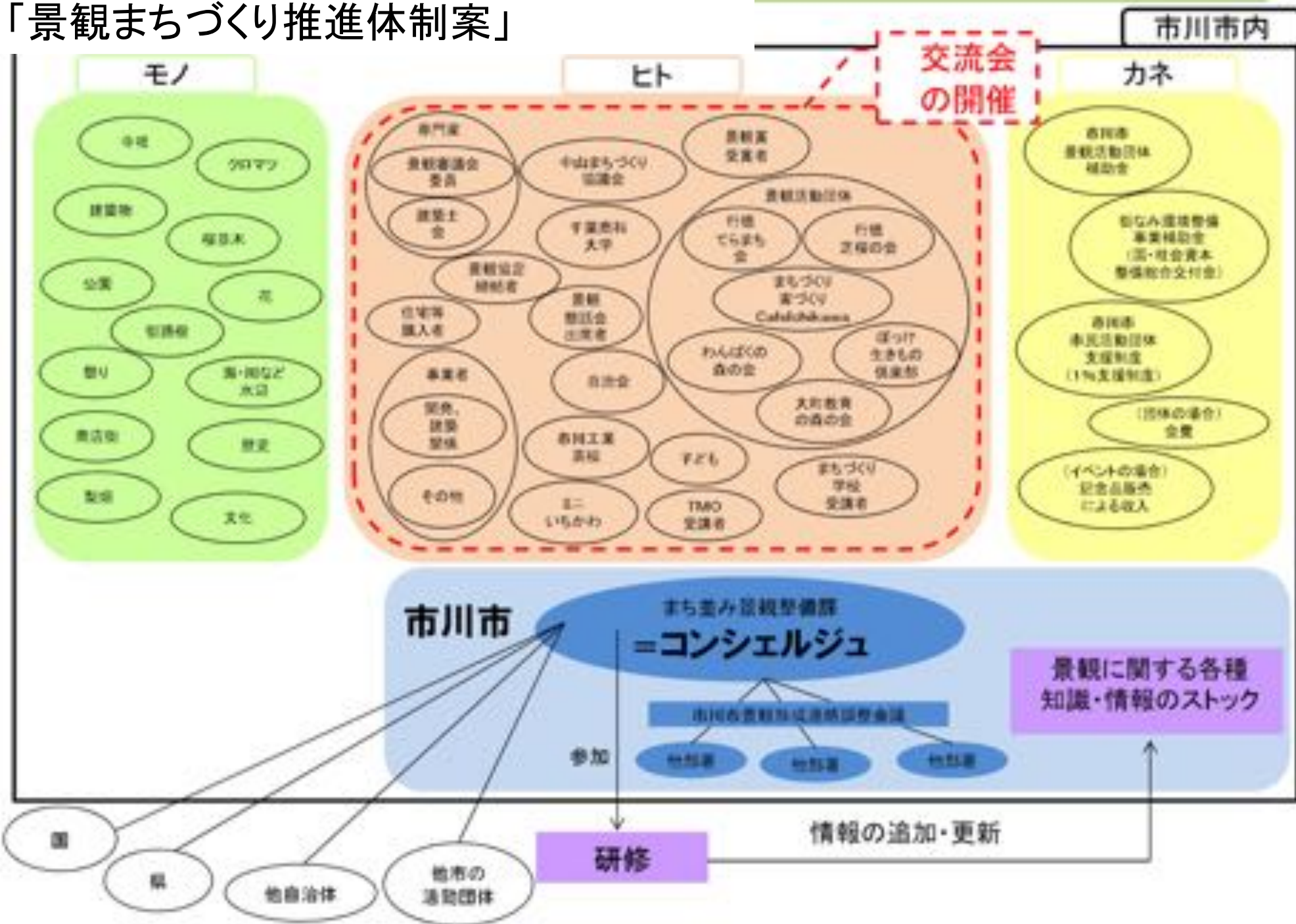
宮内庁

宮内庁では、従前から、埼玉・新潟両鴨場の業務・運営について地域住民の理解及び協力を得るため、埼玉県越谷市民及び千葉県市川市民を対象とした鴨場見学会を行ってきたところです。

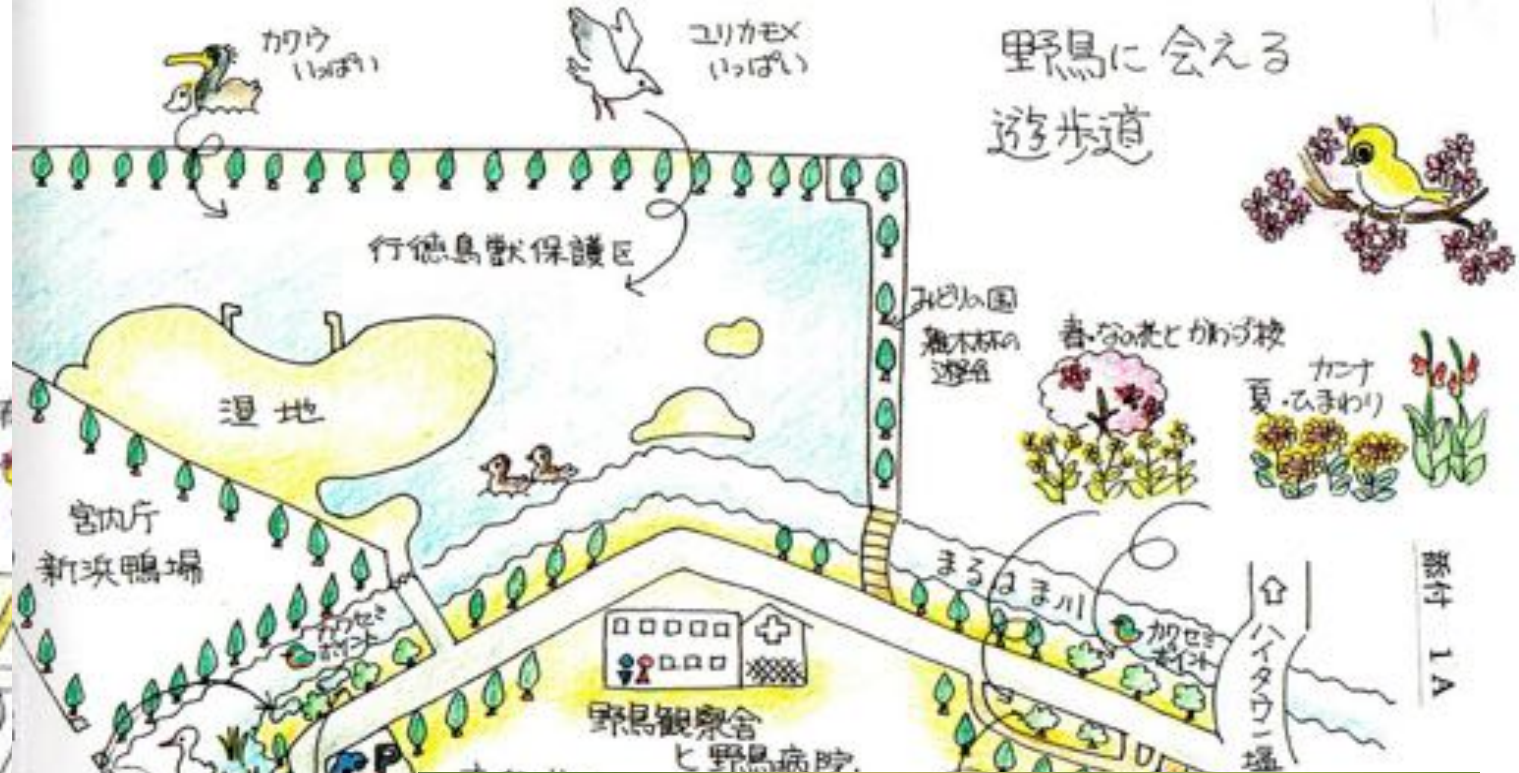
今般、政府においてとりまとめられた「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定)を受け、当庁としても、関係施設について、皇室のご活動や行事等に支障がない範囲で、これまでの公開の取り組みを拡充することとし、その一環として、鴨場見学会についても、地域住民以外の方が参加できる機会を設けることといたしました。

本年度は、各鴨場10回程度実施する予定であり、うち7回は宮内庁が主催(全国公募)、3回は埼玉県及び千葉県がそれぞれ主催(各県で公募)して、参加対象者を全国または県に拡大した形で行うこととします。(なお、両鴨場の地元越谷市及び市川市の見学会も、別途これまでどおり行います。)

# 「景観まちづくり推進体制案」



# 未来予想図



これからもずっと綺麗な景観が  
保ち続けられることを願って



ご清聴ありがとうございました